

これまでの主な意見・要望に対する対応状況

令和元年第2回（7月30日） 8件

	意見・要望	対応
1	施策1 「子育て世代包括支援センター」がどこまで周知されているのか、十分理解されていないのではないか。ぜひ周知に力を入れてもらいたい。	▶「子育て世代包括支援センター」が相談の第一歩として認識してもらえるよう、PR・啓発に力を入れ、悩みや相談がある方に気軽に来てもらえるような環境づくりに取り組んでいきます。
2	施策2 予防接種について、予算の関係もあろうかと思うが、定期接種だけでなく任意接種についても、いくらか補助すれば、接種率が上がっていくと思うので、考慮してもらいたい。	▶予防接種については、現時点では、法に基づく国の制度の中で実施する考えです。引き続き、国の状況を注視してまいります。
3	施策3 保育士の仕事の中にも専門性が不要でないものについては、保育士でない人材を導入することができないか、検討してもらいたい。	▶清掃業務や遊具の消毒、給食の配膳、寝具の用意、片付け、外国人の子どもの保護者とのやりとりに係る通訳といった保育に係る周辺業務を行う「保育支援者」の配置を支援する補助制度が、国において制度化されています。（補助率1/2） ▶今後、市での実施について検討を行っていきたいと考えています。
4	施策5 「地域に役立つ公園づくり」や「子どもが主体的に遊べる環境づくり」については、「子どもが主体的に動ける、子どもに優しいまち」という観点から、ぜひ、各施設・公園間の「子どもたちにとっての移動のしやすさ」も考慮に入れ、進めてもらいたい。	▶次期プラン施策（5）「地域における子どもの居場所づくり」では、子どもが自分で移動できる（歩いていける）範囲内に、できるだけ多くの遊び空間を提供していくことを目指していますが、少子化が進む中、子どもだけの空間づくりに縛られることなく、子どもを含めたいろんな世代が集まる多世代交流の場をつくっていくことが重要だと考えています。 ▶一方で、子どもの移動範囲を「歩いていける」範囲に限定せず、バスなどの公共交通機関や自転車の利用を前提とした、広範囲の子どもの遊び空間をプロデュースするという視点も大事なことと考えています。どのような手法が考えられるのか、今後の検討課題とさせていただきます。
5	施策5 子ども食堂が増えていくのは良いことだと思うが、本当に地域の場になっているのかなど、内容面もしっかり見ていてもらいたい。	▶施策（5）「地域における子どもの居場所づくり」については、成果指標として、「市内における子ども食堂の開設数」（増加）を挙げていますが、御意見いただいたとおり、この指標は、ただ「子ども食堂」というものが増えていくことを目指すのではなく、しっかり「子どもの居場所」として機能する「子ども食堂」を増やしていくという意味が含まれています。 ▶子ども食堂コーディネーターや、子ども食堂ネットワークの活動を通じて、「子ども食堂」の「質」の維持・向上にも取り組んでまいります。

		意見・要望	対応
6	施策6	<p>「青年リーダーの養成」を行っているが、こうしたリーダーとなる高校生、大学生、若い社会人の変容（成長）をしっかりと見ていくことが大切である。</p> <p>彼らが良くなれば、子どもたちのモデルにもなり、後進の人材育成にもつながる。</p> <p>成果指標を設定するかどうかは別としても、こうしたリーダーたちの変容について、なんらかの把握（ヒアリング、アンケートなど）が必要ではないか。</p>	<p>▶本市が運営する「青少年ボランティアセンター」などにおいても、将来活躍できる若者が生まれています。</p> <p>▶彼らに対して、こういった形でアプローチし現状を把握していくのか。アンケートなのかヒアリングを含め、客観的に測ることのできる手法として、こういったことが考えられるのか、今後、検討していきたいと考えています。</p>
7	施策10	<p>特別支援学級を希望する子どもは、環境が変わることが苦手だったり負担が大きいこともある。</p> <p>条件を緩和し、できるだけ、居住区の学校で特別支援学級に入れるように配慮してもらいたい。</p>	<p>▶本市における特別支援学級の新設については、市全体の視野に立って、検討を行っております。</p> <p>▶特別支援学級の新設については、ニーズが高いことも承知していますので、今後も引き続き、優れた資質を持つ教員の確保や人材育成に努めることによって、このニーズにできる限り応えられるよう努力してまいります。</p>
8	その他	<p>今回作成した「子ども用の資料」を、学校の教室などで活用してもらいたい。</p>	<p>▶学校の授業の活用については、時間的な制約等もあり、全校挙げて行うことはできませんでしたが、一部の教師の方、放課後児童クラブの指導員の方などが協力してくださいました。</p> <p>▶この結果、たくさんの子どもの意見、アイデアが届きました。子どもプランを知ったことをきっかけに、子ども自ら「自分でできることをしていこう」という意識をもってくれたことを嬉しく感じています。</p>